



笹島にあった旧名古屋駅前の様子（昭和8年頃）【久住典夫『目で見える名古屋の100年』上巻、郷土出版社、1999年】より

第24回特別企画展 2018 5/30 (水) ~ 9/29 (土)

関東大震災と愛知県

「人事のあえてよくする所」とは？

名古屋大学減災館

Disaster Mitigation Research Building, NAGOYA UNIVERSITY



地震直後の東京駅前の様子（大正12年9月1日）【北原糸子『写真集関東大震災』吉川弘文館、2010年】より

関東大震災と愛知県

「人事のあえてよくする所」とは？



監修 武村雅之先生

大正12(1923)年の関東大震災は、わが国の歴史上最大の被害を出した自然災害であり、発生日の9月1日は「防災の日」として、毎年日本各地で、防災訓練などが行われています。

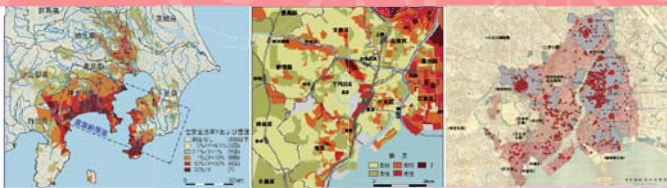
東海地方は震源から遠く、被害はほとんどなかったにもかかわらず、名古屋市千種区の日泰寺などには供養堂や慰霊碑があります。なぜでしょうか？

またさらに、愛知県犬山市の博物館明治村には、東京付近で震災を体験した建造物が沢山移築されています。これらは震災時にどのような役割を果たしたのでしょうか？

史上最大の震災を克服し復興を成し遂げた人々の力に学びたい。そんな思いから、関東大震災95周年にあわせて特別企画展を開催することにしました。

第1章 関東大震災を知る

左：関東地震による関東全域の震度分布【武村雅之「関東大震災―大東京圏の揺れを知る」鹿島出版会、2003】より
中：住宅の全壊率から評価した東京市の震度分布【武村雅之「天災日記―鹿島龍蔵と関東大震災」鹿島出版会、2008】より
右：東京市における焼失地域、死者発生場所、避難地【武村 同上 2008】より
※元図は西田幸夫：「関東大震災」第1編、内閣府中央防災会議（2006）による



第2章 経済被害と避難民

左：退京者の様子【震災絵巻書】より
中：退京者の様子【北原糸子「写真集関東大震災」吉川弘文館、2010】より
右端：軍艦上の避難者【北原糸子「写真集関東大震災」吉川弘文館、2010】より



第3章 人事のあえてよくする所



第4章 明治村が語る関東大震災



▲ 第3章：左：地震直後の中央気象台（現在の気象庁）の建物と火災による雲【東京市編写真集（1930）『復興』】より
中：東区の福徳寺にある関東大震災と濃尾震災の慰霊碑【武村撮影（2013）】
左：神奈川県藤沢市亀井野（旧六合村）の亀井神社に立つ「大震災復興記念碑」【武村雅之「復興百年誌―石碑が語る関東大震災」鹿島出版会、2017】より
▼ 第4章：左：東京駅警備備置派出所、博物館明治村5丁目60番地【武村撮影（2017）】
中：東京駅警備備置派出所【内務省社会局「大正震災志写真帖」、1926】より
右：日本赤十字社中央病院南棟、博物館明治村4丁目35番地【武村撮影（2015）】



都築充雄先生の
スピノフ・コーナーも
お楽しみに！

名古屋大学減災館

Disaster Mitigation Research Building, NAGOYA UNIVERSITY

〒464-8061

名古屋市千種区不老町

Phone 052-789-3468 Fax 052-789-5023

開館時間 13:00～16:00（入場は15:30まで）

休館日 日・月曜日、祝日、第2・第4火曜日

（行事等により、上記以外で急速休館になる場合がございます。最新の情報は下記 URL でご確認ください）

<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/>

減災館では開館日の13:30から毎日、所属教員によるギャラリートークを行なっております。

ギャラリートーク予定表は上記 URL でダウンロードできます。

Disaster Mitigation Research Building, NAGOYA UNIVERSITY